

令和7年 7月 7日

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立大月小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

○計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

○実施している

・実施していない

(3) 自校における評価

- ・第1学年からの英会話学習の実施により、児童は英語に興味をもち、EAAやALTに話しかけたり、英語の歌やゲームを通して英語によるコミュニケーションを楽しんだりし、コミュニケーションの基礎的な能力が育まれる姿が見られた。
- ・英会話学習では、児童が興味をもちそうなデジタル教材やカード等を活用することによって、興味をもって英語を聴いたり見たりし、英語に慣れ親しんでいる。
- ・昇降口で、英語による曜日や天気の掲示物を日常的に目にすることや休み時間や下校時にALTやEAAとの自然に関わる機会をもつことで、外国語や外国の文化に興味・関心が高まっていた。

(4) 学校関係者による評価

＜児童＞

- ・学校評価では、「英会話学習に楽しく取り組んでいますか」の問いに対して、約93%の児童が英会話学習に概ね楽しく取り組んでいると回答し、英会話学習についての意識が高まっている。
- ・ALTやEAAとの活動を行う中で、英語で話すことや話すためにじっくり聴こうとするなど、英会話に楽しみながら取り組んでいた。
- ・ハロウィンやクリスマスなどの行事において、他国の文化について触れることで、楽しみながら興味をもって取り組み、英語や他国のことに目を向ける機会をもつことができた。

＜保護者＞

- ・第1学年からの英会話学習は、歌やゲームを取り入れながら、英語に親しみ、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力が身につけているように感じる。
- ・授業の中で、外国の文化に触れる機会があることは、英語や外国の文化に興味・関心をもち、身近に感じることができている。

3. 実施の効果及び課題

○英会話学習に第1学年から取り組んでいることで、日常的に英語に親しみ、楽しみながら活動に取り組もうとする様子が見られる。

△児童の中には、英会話学習に苦手意識をもっている児童もいるため、児童が英語に親しみ、興味をもつような教材の工夫を取り入れながら授業を行う。

4. 課題の改善のための取組の方向性

児童が、英語に親しみ、興味をもつような授業を行うために、教材研究を行い、授業を展開するようにする。第1学年から英会話学習で慣れ親しんできた単語や英文等を繰り返し活用することを通して、定着を図り、更に語彙が増えていくように意識させる。また、英語によるコミュニケーション能力の基礎的な能力を高め、自ら発する場面等を設定し、楽しみながら活動に取り組めるような教材や活動の工夫を取り入れていく。